



三条北ロータリークラブ週報

行動に信念を—…信念は行動に—…

BELIEVE IN WHAT YOU DO —…
DO WHAT YOU BELIEVE IN —…

国際ロータリー会長 ロバート R. バース 第2560地区ガバナー 細瀬久雄

例会日

1994. 3 . 22

累計 No 358

当年 No 35

会長/羽賀 一夫

幹事/長谷川博一

SAA/早川 瀧雄

例会日/火曜日 PM12:30~1:30

例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局/三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

FAX ☎33-8972

行事: 早朝例会(座禅) 曹洞宗 西明寺

出席: 本日の出席 55名中44名(内記帳18名)

先週の出席率 55名中49名 89.09%(前年同期87.50%)

先週のメイクアップ: 3月11日 吉田RCへ 高橋彰雄さん

16日 三条RCへ 山上茂夫さん 今井克義さん 吉川吉彦さん
羽賀一夫さん

18日 吉田RCへ 佐藤啓策さん

ビジター: 三条RCより 五十嵐晋三さん 山田富義さん 五十嵐絵一さん 細井増雄さん
藤田紘一さん 西山徳厚さん 関本哲秀さん

三条南RCより 野島廣一郎さん 小林博久さん 池田繁さん

会長挨拶: 羽賀一夫

本日は彼岸と言うのに霜が降り、寒い中にもかかわらず大勢参加下さりましてありがとうございました。25分間の座禅いかがでしたでしょうか、迷いが取れましたでしょうか。私は欲の消えないまま終わってしまいました。

今テーブルの上の文を読んでいましたら、大変よい話がかかれておりましたので、老眼鏡をおもちにならず、読めない方のために読ませていただきます。前略しまして途中から読みます。

「皆さん、人生の目的はなんだと思いますか。人生には目的は無いのです。目的が有ると思っ
ているから、目的が無くなるとがっかりして自殺してしまうのです。では目的が無くて何のために生
きているのでしょうか。いや生きていることが目的なのです。永平寺の前貫首、泰慧玉禅師は『花
を看、水を渡り、おぼえず君が家に至る』という、この中国の詩を御生涯の、境地とされました
が、何のために君の家に行ったのかの目的ではなく、その途中の、花や水を、賞めておられるので
す。いかに美しく生きるか、それが人生の目的なのです。友達の家を尋ねて行って、よし留守であ
っても、途中の花や水が美しければ、人生は満ち足りるのです。私は生まれつき知能もひくく勉強

もできず、自分で悩んでいました。勉強できる友達はそれぞれ大きな目的を語っていました。そのとき私は、そうだ『自分は美しく生きよう』と決めたのです。それなら勉強できない私にもかなえられると思い、私は自分の悩みから救われたのです。そして今も、もっともっと美しく生きようと願っているのです。例え、明日死ぬる命で有っても」

幹事報告： 長谷川（博）幹事

なし

ニコニコボックス：

- 中條耕二君 西明寺様と久しぶりにお会いして、気分が良かった
- 羽賀一夫君 普段悪い事をしているバチ当りから一口
- 淵岡茂君 さわやかな早朝例会時々お願いいたします
- 梨木建夫君 おかゆのおいしさにはビックリしました。たまには早く起きて健康的な生活は良いものです!!合掌!
- 早川瀧雄君 BOXに協力。
- 佐藤文夫君 素晴らしい朝を西明寺様で過ごせました。感謝します。
- 今井克義君 早起き、座ぜん、つけ物とおかゆ、こんな日が一週間続けられたら……人生変わるだろうなあ～
- 石川友意君 久しぶりに背すじを伸ばしました!!
- 平松利朗君 久しぶりの坐禅、身が引きしまります
- 木本達郎君 座禅は、はじめてケイケンさせて頂きました。ありがとうございました
- 外山晴一君 西明寺さま本日はありがとうございました。
- 佐藤啓策君 子鳥の声がとても綺麗で、カラスの声さえも可愛いく聞こえました。自分の気持の持ちようで同じ鳥の鳴き声も随分と違って聞こえるものだなあと、悟らせて頂きました。ありがとうございました。
- 落合益夫君 先日の竣工式には大変お世話になりました。
- 本間建雄美君 BOXに協力
- 石川勝行君 朝の座禅はすばらしい。ありがとうございました。
- 米山忠俊君 BOXに
- 小林満君 BOXに協力して
- 吉川吉彦君 BOXに協力して

卓話：

人生の目的 藤本幸邦さん

藤本幸邦（フジモトコウホウ） 明治43年円福寺に生れる。昭和10年駒沢大学仏教学科卒業、直ちに渡辺薫美師の門に入り、世界一家の原理を学ぶ。昭和20年応召。昭和21年復員後、戦災孤児救

済運動を推進し、昭昭23年養護施設円福寺愛育園を創立し、今日に至る。円福幼稚園、円福保育園理事長を兼ね、世界法民太陽学園学園長として世界法民道を唱導する。曹洞宗大本山布教師、曹洞宗北陸管区教化センター統監。

この間、朝日新聞の「声」の欄に中学生が投書して「自殺してはいけない、強く生きなさいと大人は言うけれど、そして、親が悲しむからと言うけれど、生きている目的を教えないで、強く生きる、自殺はいけないといっても、生きる希望が無ければ死ぬよりしかたがない、誰か生きる目的を教えてください」と訴えていました。皆さん、人生の目的は何だと思いますか。人生には目的はないのです。目的があると思っているから、目的がなくなるとがっかりして自殺してしまうのです。では、目的がなくて何のために生きているのでしょうか。いや、生きていることが目的なのです。永平寺の前貫首、泰慧玉禅師は「花を看、水を渡り、おぼえず君が家に至る」という、この中国の詩を御生涯の境地とされましたが、何のために君の家に行ったのかの目的ではなく、その途中の、花や水を賞めておられるのです。如何に美しく生きるか、それが、人生の目的なのです。友達の家を探ねて行って、よし留守であっても、途中の花や水が美しければ、人生は充ち足りるのです。私は生れつき知能も低く、勉強もできず、自分で悩んでいました。勉強のできる友達はそれぞれ大きな目的を語っていました。その時私は、そうだ「自分は美しく生きよう」ときめたのです。それなら勉強のできない私にもかなえられると思い、私は自分の悩みから救われたのです。そして今も、もっともっと美しく生きようと願っているのです。たとえ、明日死ぬよいのちであっても。

二度とない人生だから 坂村真民さん

坂村真民（さかむらしんみん） 明治42年熊本県に生まれる。神宮皇学館卒業、25歳の時、朝鮮に渡り、全州師範学校に勤務中終戦、引き揚げ四国に移り住む。著書に「自選坂村真民詩集」エッセイ集「念ずれば花ひらく」などがあり、詩誌「詩国」を主宰している。

二度とない人生だから 一輪の花にも 無限の愛を そそいでゆこう

一羽の鳥の声にも 無心の耳を かたむけてゆこう

二度とない人生だから 一匹のおおろぎでも ふみころさないように

こころしてゆこう どんなにか よろこぶことだろう

二度とない人生だから 一ぺんでも多く 便りをしよう

返事は必ず 書くことにしよう

二度とない人生だから まず一番身近な者たちに できるだけのことをしよう

貧しいけれど こころ豊かに接してゆこう

二度とない人生だから つゆくさのつゆにも めぐりあいのふしぎを思い

足をとどめてみつめてゆこう

二度とない人生だから のぼる日しずむ日 まるい月かけてゆく月

四季それぞれの 星々の光にふれて わがこころを あらいきよめてゆこう

二度とない人生だから 戦争のない世の 実現に努力し そういう詩を一篇でも多く
作ってゆこう わたしが死んだら あとをついでくれる 若い人たちのために
この大願を 書きつづけてゆこう



3月29日例会： 会員卓話 佐藤啓策会員

4月5日例会： ローターリー雑誌月間 堀川正幸会員